

名称 GO<sub>3</sub>OS (Global Ozone Observing System)

日本語名 全球オゾン観測システム

親機関 GAW/WMO

住所 Public Information Office, WMO, P.O. Box 2300, CH-1211, Geneva 2

国名 SWITZERLAND

電話 — — —

ファックス — — —

## 1. タイプ：国際科学計画

## 2. 地理的範囲：世界

## 3. 目的

1957年 WMOは標準化され調整されたオゾン観測プロジェクト、研究・関連文献に関する国際的なフレームワークを確立し、GO<sub>3</sub>OS がスタートした。現在GO<sub>3</sub>OS は約140 のモニタリング地点をもつ全世界的なネットワークである。これらの地上モニタリング活動は、リモセン技術の実施により補完されてきた。このモニタリングの多面性ゆえにGO<sub>3</sub>OS がオゾンの水平分布だけでなく、垂直分布に関するデータを提供することができる唯一のオゾン観測ネットワークとして発展した。

またGO<sub>3</sub>OS はUNEP/GEMS に対して、オゾン関連データを提供する唯一のものである。今日まで、GO<sub>3</sub>OS は3つの主要なオゾン層の状況に関するレポート（1981, 1985, 1988）モニタリング結果を出版してきた。各レポートは、NASA, NOAAとUNEPの協力により出版された。

## 4. データ管理

オゾン関連データはカナダの大気環境サービスの世界オゾンデータセンター（WODC）に蓄積されている。このセンターは1960年から運用されているため、長期かつ広範な大気オゾン傾向を提供することが、可能である。カナダのセンターは隔月にブレティン“Ozone Data for the World”に最新の知見を掲載している。

データ収集、更新と報告はWMOによって標準化されており、IAMAP（International Association of Meteorology and Atmospheric Physics）の国際オゾン委員会によって支援されている。質の保証は規準に対して定期的に再キャリブレーションすることによって保証されている。

## 5. 協力関係

WMO-GAW によってGO<sub>3</sub>OS は緊密にBAPMoNと結びついている。これらの計画はあわせて地上、水表面、化学物質の分散、輸送、化学変化、沈積物研究のための総合的ネットワークを開発しようと試みている。モニタリングによってデータ管理、研究と出版活動によってGO<sub>3</sub>OS は上述の他の多くのプログラムや機関と密接に関連している。

## 6. 参考文献

HEM, 1990: A Survey of Environmental Monitoring and Information Management Programmes of International Organization.

WMO, 1989: Fact Sheet, The WMO Global Ozone Observing System.

## 7. データ請求先

Public Information Office, WMO, 41, avenue Giuseppe-Motta, P.O. Box 2300, 1211 Geneva 2, Switzerland